

東京医科大学看護専門学校同窓会

# 同窓会便り

第30号

発行者

東京医科大学看護専門学校  
〒160-8402 新宿区新宿 6-1-1  
TEL 03-3351-6141 (内 310)  
<http://www.touikan.com/>

印刷  同窓会事務局

発行日 2015年2月20日  
(年1回発行)

## Topic

会長挨拶・就任挨拶	1 P
戴帽式	5 p
近況	7 p
定例幹事会報告	9 p
会計報告	10 p
東医祭	11 p
編集後記・同封物の見方	12 p

## 会長挨拶

### 同窓会のこれからのこと



同窓会会長 3回生  
有本キヨ子

同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。「同窓会便り30号」をお届けします。1985年、創刊号発刊から30年を経ました。初めと今、両方に関われたことを思いますと感慨深いです。現在は、ホームページからも情報の発信をしています。一人でも多くの同窓生に届くよう願ってやみません。今後も「同窓会便り」の発行を続けられますよう、みなさまの一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2014年度の定例幹事会は6月7日に開催され、2015年度(平成27年3月)の母校の閉校後も同窓会を存続させることを決めましたが、卒業生の出ない同窓会を運営することになります。

これからのことを、できるだけ多くの会員と話し合えることが望ましいと思います。卒業時に納入して頂いていた終身会費がなくなると、収入源を寄付のみに頼ることになります。これまでの寄付金の実績は、年度平均783,510円です。

同窓生の情報源である会報とホームページを維持し発展させることは、同窓生のなにかがしかの一助となることと思います。これらを維持していくための資金の確保を重要課題と考えています。みなさまのお知恵を拝借させて頂けると幸いです。志を同じくした私たちの集える場を大切にしていきたいと思っております。

ご意見の宛先：幹事・役員またはホームページからお願いします。

<http://www.touikan.com/> から e-mail にお送りください。

e-mail:doso@touikan.com

(ドーソー@トウイカン.com)

## 就任挨拶

### 茨城医療センターに赴任して



坂井都美子 13回生

同窓生のみなさま、13回生のみなさま如何お過ごしでしょうか。平成26年3月に清田看護部長と一緒に、新宿から茨城医療センターに赴任しました。皆様ご存知のここ数年の諸問題だけではなく、予想を遥かに超えた様々な問題が山積し、赴任早々めまいに襲われました。赴任した日の寒空にきれいに浮かんでいた三日月は心寂しく、私の人生の中で一生忘れられないものとなりました。

副看護部長という役職に戸惑いながらも6か月が過ぎ人に慣れた分、東京との二重生活もペースをつかんで来たように感じています。

茨城医療センターの看護部は「地域に暮らす人々の立場に立ち、その人らしい生活と人権を尊重した質の高い看護を提供する」を理念に、急性期医療だけではなく、訪問看護ステーション、デイケア、通所リハビリテーションを併設しており、平成26年10月からは地域包括ケア病棟を開始しました。患者さま利用者さまから“ここに通院、入院できて良かった”と満足いただける看護が提供できる、そして看護職員自らも満足できる看護が私たち看護部の目標です。微力ではありますが皆様のご支援、ご協力を受けながら在任期間を全うできればと考えております。



## 「東京医大の魅力」 皆に支えられて



蓮見 (小泉) 和子  
17回生

平成26年4月より外来Bブロックの看護師長を拝命致しました。当初、不安、戸惑い、責任の重みに身体が悲鳴を上げていながら、今は何故か心は充実感で満たされているといった日々を送っています。これも上司や諸先輩方、明るいスタッフに支えられ、そして『チーム東京医大』の温かさを感じているからだと思います。

それを実証するようなことが起こりました。夜勤師長として初めて勤めた夜勤のことです。私としては前代未聞の出来事で、限りある時間

の中で一人で何とかしなければと焦り、どうしたらいいのか途方に暮れました。通常の業務が終了しており、忙しい朝まで待つしか手だてはありませんでした。でもそれを知った責任者当直医師、夜勤看護師、事務職の方、清掃担当者さん、他職種の方々全員が慌ただししい朝に進んで協力し力を貸して下さいました。おかげでトラブルを時間内に解決することが出来ました。東京医大の団結力・優しさに触れ、「ひとりじゃないんだ」と安堵感を覚えました。まさに東京医大の底力を感じた瞬間でした。

創立100周年事業の中、ますますチーム力が上がっていく事を期待しつつ、私は『患者さんにとって何が一番良いことなのか、最善な事は何か』をスタッフと共に考え成長していきたいと思います。同窓生皆様の御活躍、御健康を祈念致します。

## 「今想うこと。これから目指すべきこと。」

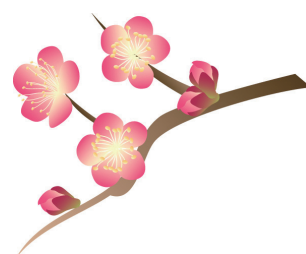


反町和正 33回生

同窓生の皆様、お久しぶりです。今私は東京医科大学病院15階東病棟に勤務しています。平成26年4月に現病棟に配属されると同時に師長の任を拝命しました。諸先輩方や同僚、スタッフに支えられ日々奮闘しています。今こうして頑張れるのもこれまで出会った患者様や多くの学びがあったからだと思います。

先日、私が10年以上前に担当させていただいた患者様が15階東病棟に入院されました。患者様は私のことを覚えていてくださり、元気そうな姿をお互い確認することができました。

継続して働くことの喜びを実感できる瞬間でした。その後の内科病棟では慢性疾患を持つ患者様のケアや退院支援について学びました。そして外来部門では、たくさんの患者様と接することでサービスや接遇についての興味が深まりました。どうすれば質の高い看護を実現できるか悩むことも多いですが、今では師長という立場でより良い看護サービスの提供を目指し、スタッフとともに試行錯誤しています。まだまだ管理者として未熟な私ですが、同窓生の皆様からご指導ご鞭撻いただきながら、これからの東京医科大学病院の発展をお手伝いできればと思っています。



## 「勉強の日々」



神保洋子 18回生

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は長い間、外来部門である人工透析センターで勤務してきましたが、2年程前、久々に病棟勤務を命じられ夜勤も行ってきました。そして、今年度より主任として再度透析センターへ戻ってきたところです。

病院は、今年度より電子カルテへの移行、新

病院建設に向けてあわただしく忙しい毎日が続いていますが、私は、加齢と共に記憶力に乏しくなり何度も確認することが多くなるため逆に仕事量が増え、また身体のあらゆるところに不安をかかえ健康にもさらに気を使わなければならない年代になりました。主任ともなると会議が多いことに驚き、チームで働きながら患者や外来部門のスタッフのことも全体的に管理していかなくてはいけないので四苦八苦しているところです。主任1年目、会議出席すること、師長からの指導、透析センターで勤務しているスタッフや他外来部門スタッフとの関わりが日々勉強の毎日です。

## 「主任に就任して」

末吉(山中)由美  
28回生

早いもので、看護専門学校を卒業して20年の月日が流れました。

病院内で以前と変わらない、ストライプの実習ユニフォーム姿の看護学生を見ると、学生時代に友人達と助け合い・励まし合いながら乗り越えた実習生活が懐かしく思い出されます。

卒業・就職する際は、自分にやっていけるだろうか・何年続けていけるだろうか、ただ漠

然とした期待と不安を抱えて、たくさんの同期達と巣立ちましたが、まさか、自分がこれだけ長く、この病院で看護を続けていくことになるとは思ってもみませんでした。長い年月の中では、様々な部署での看護を経験しただけでなく、私生活では結婚し出産・子育てしながら勤務する機会を得ることができました。また、今年度の春からは、主任という新たな役割を拝命し、諸先輩方をはじめ多くのスタッフと共に、看護の現場で何とか頑張っています。医療・看護の現場も日々、変容を遂げていますが、今後も常に看護に興味を持ち続け、どのような形であれ、少しでも長く看護に関わっていくことができれば良いと思っています。

## 「主任となって」

長村生野 30回生

4月より18階西病棟(循環器内科)主任になりました、30回生の長村生野です。

一昨年、慢性心不全看護認定看護師になり、入院中の心不全指導や退院支援など、心疾患を抱える患者様が望む場所で療養生活ができるよう日々悩みながら勤務しております。主任昇格のお話があった時には、認定看護師として職務遂行も試行錯誤の状態でした。そのため、主任

として病棟の看護管理を実践するのは難しいと考えました。しかし、中野看護部長に『認定看護師として活動するために、看護管理の視点も必要。』とお言葉を頂き、主任として病棟の看護管理に向き合ってみようと思うようになりました。師長はじめ皆様にご指導頂きながら、看護管理について学び、慢性心不全看護認定看護師の活動に活かしていきたいと考えております。同窓生の皆様にもご指導頂きたく宜しく願い申し上げます。



「東京医科大学看護専門学校長就任」



学校長 伊藤雅裕

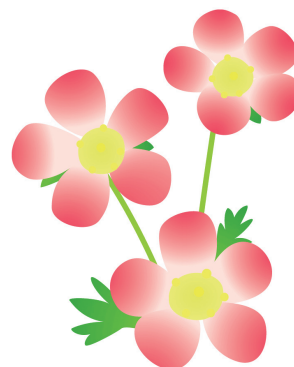
看護専門学校同窓会の皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。山科章前学校長に代わり平成26年8月1日付で看護専門学校長に任命されました。専門は人体構造学（解剖学）になります。在任期間はわずか1年8ヶ月間となりますが、「看護専門学校と同じ新宿キャンパスに身をおいて、密に学生および教職員と連携をとりつつ、在籍する学生全員に看護師国家資格を取得してもらうために全力でサポートせよ」という大学執行部の要請に応えるべく一所懸命に務めてまいりたいと思いますので何卒ご指導のほどお願い申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、本学の看護専門学校は平成27年度末で閉校となります。平成25年度開設の看護学科が本学における看護教育を継承することを受け発展的に閉校する流れになりますが、創立50年以上が経ち3000余名の卒業生を輩出してきた看護専門学校の歴史と伝統を思うと寂しい限りです。学校長に就任して4か月が経ちわかったことは、各教員が、閉校が迫ってきている状況下で今後の自身の進路が未だ不確定な中、教育者としてのモチベーションを高く維持することが極めて難しくなっているということです。そういう環境にもかかわらず最後の卒業生を見送るまで本校に在籍してくれようとしている先生方の献身的な姿勢には本当に頭が下がります。

東京医科大学は、今、看護学科新設に続き

新病院建設が始まり、経営的に大きな改革の中にあります。日本の医療体系も、国民医療費が増加の一途をたどる中、次々と変革を迫られ続けるでしょう。人類史上、類を見ないスピードで超高齢化と核家族化（家族崩壊）が進むわが国において、予防医学の充実とともに、病気を診る・治すではなく「患者を見る・看取る」ことがますます切実な課題になってきております。「医者が治せる患者は少ない。しかし、看護できない患者はいない。」というくだりが中井久夫（神戸大学名誉教授）という方の著書『看護のための精神医学』にもあります。さらに、わが国は災害大国でもあり、「災害看護」の重要性も、1995年の阪神・淡路大震災以降、確実に増してきており、2011年の東日本大震災以降、にわかに関心されてきております。その専門職である看護師の需要はますます高まっていくことでしょう。この社会の需要に応えるべく、在籍する2学年および3学年の学生の皆さんが、無事に卒業を迎え、看護師として社会に貢献できるように、何とか看護専門学校の教職員全員で後押ししていきたいと思っております。

最後になりますが、50余年にわたって続いてきた東京医科大学看護専門学校の歴代の卒業生および常勤・非常勤教職員として在籍されてきた関係者の皆様には、在籍する全ての学生が卒業するまで何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 「戴帽式を終えて」



荒川亜友美 50回生

私たち50回生は、例年より数か月遅れて11月6日に戴帽式を迎えました。いつもは7月の基礎看護学実習の直前である6月に行われるのですが、今年は11月となり、待ちに待った戴帽式でした。

戴帽式を迎えるにあたっては、ナイチンゲールの歴史、戴帽式とは何か、戴帽式を迎えるにあたっての心構えなど先生方のご指導のもと事前学習を行いました。私は7月の実習を通して学んだことを振り返りました。充実した実習が行えたのは、患者さんやご家族の協力があったからなのだと感じ、心から感謝の思いが湧いてきました。また、患者さんや病棟のスタッフのみなさん、看護学校の先生方などたくさんの方々の協力を得て、育てられる看護師一人ひとりというのは、周囲から寄せられる信頼や期

待も大きいと感じ、その期待に応えていける人材になりたいと考えました。

戴帽式では先生方や家族、ご来賓の方より祝福のお言葉をいただき、とてもうれしい気持ちと看護師を目指す者として決意を新たにしていくな事な節目であると感じました。私たち一人ひとりが看護師への思いを深めたと思います。この日に誓ったことは、これからの学習や看護師となった後の人生においても大きな支えになると考えています。

これからも患者さんに興味を持って、相手を知りたいという思いで学習をしていきたいと思ひます。将来は患者さんをはじめ、周囲の人に信頼される看護師になりたいです。



## 戴帽式への思い

中山ハル 別4回生  
(7p集合写真前列左から二人目)

いつの時にも看護の原点に顧みることのできる戴帽式に臨み、感慨無量だった一日でした。戴帽の式典は、将来の自分に夢や希望を与えてくれました。徐々に、現実となると困難をきわめることもありましたが、患者さんから学ぶこともたくさんあり、多くの周囲に支えられ、今の自分があることにふり返ることができました。

昨年は、看護専門学校として50年の歴史という重みに感動しました。

私もいくつも年を重ねてきました。今少しですが、看護に接していて、この仕事を選んできてよかったと思っています。

式典のあとは同窓生の方々と食事をしたり、学生のころに体育や苦手な化学・物理の授業に通った道をなつかしく、思い出を語りながら帰りました。

佳き日をどうもありがとうございました。

## 戴帽式を参観して

簗島典代 31回生  
(7p集合写真二列目左から二人目)

これから実習に臨む若い方々の希望と夢、決意、不安のこもった厚い思いが伝わってきて感動しました。約20年ぶりに列席し、当時のことを懐かしく思い出すと共に、長い間忘れてい

た初心が思いおこされて、改めて看護の原点を心に刻みつけ、厳粛な気持ちになりました。聞くところによると、最近は看護学校で戴帽式をしないところも増えているとのことで、残念な気持ちになります。看護学校もあと一年半となつてしまいましたが、これからも宜しくお願い致します。



# 戴帽式





## 近況

### 「前向きに今を生きる」

山本（和田）秀子  
6 回生

東京医大看護専門学校も50周年を迎え、病院の周辺の新宿は、私達が3年間（2年生までは全寮制）過ごした時代とは、もの凄い様変わりですが、懐かしさがよみがえる街。

6回生は、看六・ますます貫禄十分な年代となり、「かんろく会」の名で十年程前から毎年旅行や観劇・音楽鑑賞・食事会等で交流が続いています。

私は卒業後、郷里の新潟県立公衆衛生看護学校へ進学し、その後養護教諭として東京都内の小・中学校で通算17年勤務しました。養護教諭はスクールナース・全校生徒の担任の意識で保健室ではお母さんの役割。校内暴力・不登校の生徒達。けがの処置・病気の看護・カウンセリング・生活指導。一人でやりこなす事は大変でしたが病院現場とは違ったやりがいがありました。主人の仕事の関係で40歳で退職。全く違う分野の仕事ですが、現在もサポートしてい

ます。その間、結婚・出産・子育て・胃癌に罹患全摘手術・認知症の父の介護そして死・孫の誕生等・・・人生いろいろですね。

病院は誕生から死へと「人生の縮図」です。20歳前後の多感な看護学生時代に学んだ「患者のニーズの把握」が、私にとって今でも生き方の基本になっています。人の気持やニーズを把握して行動することの大切さ。今は、患者として病院を訪れることが多い日々ですが、11年前の胃全摘の経験から、多少の胃摘出後の後遺症はあるものの、食べられる事、生きてることのすばらしさを実感。和太鼓や木目込み人形等、新しい事にも挑戦前向きに今を生きる幸せに感謝しています。



### 長崎でクラス会開催

原（織田）小由紀  
進10回生

大型台風16号が西日本に迫り来る9月24日、長崎の繁華街でクラス会を開催しました。直前にキャンセルした方もいましたが、台風の直撃はなく、平田先生も天草から駆けつけてくれました。

卒業以来再会する仲間もいて、学生時代のエピソードに花が咲き、卒業28年経っても変わらない友との賑やかな会となりました。

また長崎を代表するチャンポン・皿うどんに加え、五島うどん、飛び魚、すりみ揚げなど美味しい食べ物を紹介させていただきました。

卒業後2年毎にクラス会を開いて来ましたが、時代の流れや返事を頂けない方も多く、今回の同窓会の案内はハガキで出しました。出席希望者とはメールでやり取りしたので、時間や経費

を最小限にすることが出来ました。

当日撮った写真はスマホのアプリを使い、学生時代の写真も取り込み、ミニアルバムを作って参加者に発送しました。プリントアウトする手間も省け、いい思い出のアルバムが出来たと思います。

そして来年度の閉校式には皆で集まろうと誓い合って別れました。



進10回生 長崎旅行



「昨日 今日 明日」

小又恭子 11回生

東医を卒業し37年が過ぎました。卒業生が30回生・40回生と、同窓会便りを目にするたびに時の流れを痛感いたします。卒業後、東医の旧病院の南5階病棟に5年弱、勤務いたしました。当時は早朝南5階病棟からうっすらと富士山のとっぺんが見え、深夜勤務の楽しみでもありました。その後、故郷の青森に帰省し、十和田市立中央病院に勤務し休むことなく時を刻んでおります。看護局長を拝命し5年目となりますが、東医の13回生である横田（小笠原）優子と千葉睦子の二人が直属の部下として、しっかりと支えてくれています。また、市の保健センターでは16回生の佐々木（橋本）操さんが保健師として活躍しております。青森県のこの地域、この病院で東医の後輩と共に仕事が

きることをとても嬉しく心強く思っています。あと一年半で定年を迎えますが、退職後は母の介護、孫の世話、姉や友人との旅行、オリンピックも生で見たいし……と、いろいろ考えますが、2年毎の東医のクラス会はず〜っと参加し続けたいと思っております。同期の11回生の皆様、いつまでも元気に!!

クラス会で会いましょう。



小又さん（前列中央）

皆様、お久しぶりです。

宮村知子 35回生

皆様、お久しぶりです。35回生の宮村知子です。

卒業してもう13年が経ちそれと同時に看護職に就いて早13年が経過しました。

昨年はSNSを通じて35回生の同窓会が行われ、懐かしい友人達と再会でき貴重な時間を過ごすことができました。ほとんどの友人が結婚し子供を持ちながら看護職を続けているのを聞いて、当時退職を考えていた私は皆からやる気もらいました。幹事の皆様にはこの場をおかりして感謝申し上げます。

私は東京医大で6年数ヵ月働かせて頂き、その後興味があった在宅看護を学びたく派遣社員として入浴サービスやデイサービスの仕事に携わり、自分の知識のなさにもう一度学び直そうと現職場に再就職し7年が経過しようとしています。そんな中、日々仕事をしていていつからか後輩達と仕事に対する温度差を感じるようになりました。入職してくるスタッフとは一回りの年を超えるようになり受けてきた教育や環境の違い「ゆとり世代」「悟り世代」と呼ばれる後輩達に対してどう関わり指導したらよいのか

自分の指導方法に対して悩むことが多くなってきました。当院には臨床指導者研修というものがあり演習を含めて約3カ月間その研修に参加させて頂きました。48名の同世代の看護師達との交流はとても刺激的でした。研修では教育の基本的な方法や技術、現在の看護学生・新人看護師の特性や看護の教育課程等の教育背景を理解し、教育の意義や基礎的概念について学び2年前より現在まで看護学生の臨床指導に携わらせて頂いています。学生や学校の先生と接し自分も学ぶことが多く初心に戻って「看護」について改めて考える事が多くなりました。研修に参加してからこれでもいいのか、こうすればよかったのかと葛藤の毎日です。

プライベートでは、お休みが取れば大好きな海外旅行に行き気分転換をしており、他国に行く自分の環境がいかに恵まれ周りの人達にどれだけ支えられて生きているのか実感して帰ってきます。自分の知らない世界を覗いて色々なことを経験して、まだまだ私の独身生活は当然続きそうです。

2年後には東京医大も新病院が完成されると伺いました。これからも皆様の活躍と発展をお祈り致します。

# 2014年度第31回定例 東医看学同窓会幹事会報告

司会進行：大友紀子

開会の辞（大友 紀子）

挨拶（有本キヨ子）

幹事会成立のための定足数の確認

幹事100名（住所不明者28名を除く）

会則（第18条第2項）より幹事会成立は住所不明者を除いた2分の1が36名となる

41名（出席15名、委任状26名）で成立

議長選出→ 澤田育子 書記指名→ 難波奈保子

## 1. 2013年度活動報告

- ・新聞係：会報の発刊
  - ・ホームページ係：ホームページの更新
  - ・名簿係：名簿管理は同窓会事務局に依頼
- 活動について→承認

## 2. 2013年度 決算報告（工藤ちひろ）

決算報告について→承認

## 3. 2014年度年間計画

- 2014年6月 定例幹事会
  - 11月 戴帽式出席（50回生）
  - 2015年1月 新聞発刊
  - 3月 卒業式・謝恩会出席
  - 49回生へ同窓会の説明・記念品贈呈
- 計画について→承認

## 4. 2014年度 予算案（工藤ちひろ）

予算案について→承認

## 5. その他

### 1) 東京医科大学看護専門学校同窓会会則5章12条 改正について

『会則5章12条』改正案→承認

(1) 会則 第5章 幹事 【第12条】 幹事の任務

会 則	現 行	改正案
第5章 幹事	【幹事の任務】第12条 1. 幹事は同級生の住所を把握する。 (住所は個人情報保護法により同窓会事業以外に使用しない)	【幹事の任務】第12条 1. 幹事は可能な限り同級生の住所を把握する。(住所は個人情報保護法により同窓会事業以外に使用しない)

### 2) 看護専門学校閉校後の同窓会の在り方について

会長より現状報告

- ・存続について→存続させる
- ・住所管理→株式会社同窓会事務局が行う  
変更や住所が判明→事務局に直接連絡
- ・会報発刊（年1回）について→終身会費がなくなる  
これからをどうするのか。現状の寄付金だけではむずかしい。収入の目標額は年1年度100万円は必要。
- ・閉校前に役員交代→H27年4月までに立候補、推薦を募る。

### 質疑応答

- ・閉校後に集まれる場があると良い
- ・看学は閉校するが、学科との合併はないのか  
→ 学科は医学部の所属であるが、医学部の同窓会には入らず、独立した同窓会を創立する予定。看護学校同窓会とは連携していきたいとのこと。
- ・他校事例  
→ 役員会としては調べていない。そのままスライドして大学へ移行しているケースもある。  
→ 学科が引き継がないのなら、同窓会の拠点を設置するのは難しい。  
→ 金銭管理は必要。拠点は必要。役員は順番にやっ  
ていくというのはどうか。

### 3) 今後の総会・幹事会について

- ・学校がある間に総会を予定してはどうか  
→ 存続の前提条件あるなら、6月はどうか。

### 4) 2)・3) については今後役員会で検討していく

以下のことを踏まえ、継続できる方法を検討する

- ・卒業生からの終身会費がなくなるため、活動していく収入の確保と活動内容の検討が必要。
- ・20代の同窓生へ声掛けし、参画や存続への意見を集める。
- ・電子媒体を利用した情報発信などの検討もしていく。
- ・H27年4月末日までに立候補、推薦にて新役員を選出していく。

## 6. 閉会



# 2014年度 会計報告

# 2015年度 予算案

## 平成25年度 東京医科大学看護専門学校同窓会 会計報告 (平成25年度5月1日～平成26年4月30日)

平成24年度繰越金 1,952,384

収入		支出		
項目	金額	項目	予算	支出
寄付金	885,300	本部経費 式典花・祝電・卒業記念品 幹事会 交通費 雑費(会報送料、追加発送、消耗費)	400,000	103,435
幹事会懇親会費	8,500			79,840
48回生終身会費	670,000			86,000
口座利益・旧口座残高	15,885			83,855
バザー 売り上げ	37,370	同窓会便り	700,000	684,771
合計	1,617,055	上記振込み手数料		432
		ホームページ管理料	50,000	35,260
		(株)同窓会事務局委託費	63,000	63,000
		上記振込み手数料		648
		合計	1,213,000	1,137,241

(本部経費 支出計 353,130)

平成24年度 繰越金 + 収入 - 支出 = 平成26年度への繰越金  
 1,952,384 + 1,617,055 - 1,137,241 = 2,432,198

## 平成26年度 東京医科大学看護専門学校同窓会 予算案 (平成26年度5月1日～平成27年4月30日)

平成25年度繰越金 2,432,198

収入		支出	
項目	金額	項目	予算
49回終身会費	800,000	式典花・卒業記念品・祝電	110,000
口座利益	250	本部経費 幹事会・総会経費	90,000
合計	800,250	交通費	120,000
		雑費	85,000
		同窓会便り	700,000
		ホームページ管理料	36,000
		(株)同窓会事務局委託費	64,800
		合計	1,205,800

平成25年度 繰越金 + 収入 - 支出 = 平成27年度への繰越金  
 2,432,198 + 800,250 - 1,205,800 = 2,026,648

# 東 医 祭 (喫茶 MIRACLE)

## 喫茶“MIRACLE”

### —東医祭に参加して—

副会長 守屋みゆき 17回生

看学同窓会のアピールと交流を目的として、『同窓会サークル』(有志)が喫茶とミニバザーという趣向で出店。代々木のちょっと知られている店の珈琲豆、クッキーは“ラピール”(港区・就労支援事業所)の手作りを原価で販売。1日目は風雨、近隣や内科模擬健診に訪れた方々が食器や小物、クッキーを求められた。

2日目はくもり空、おじさんが来店、珈琲のみながら手品を披露された。

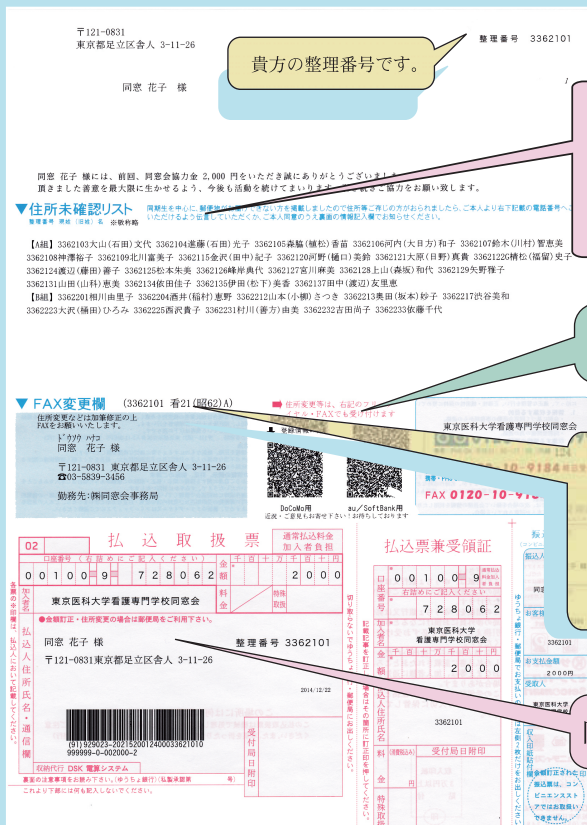
正門前を自転車で通りかかったおじさんは、目に留まったと、「競馬ゲーム」を購入された。インターネットで物が購入できる昨今、ミニバザーで一期一会の関わり合いが紡がれていく貴重な機会があることを実感した。店には、同窓生の竹内千恵子先生(看護学科副学科長)、小川清枝さん(参事)が応援に来て下さり心強かった。バザー

出品にご協力下さいました皆さま、有難うございました。来年は、看護専門学校同窓会(サークル)として最後の出店をしたいと思います。

同窓生の皆さま一緒に母校を訪ねてみませんか。



同封物の見方



貴方の整理番号です。

現在、住所が判らず会報誌をお届けできない方々です。ご存知の方は、フリーダイヤルまたは、フリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお伝え下さい。

携帯電話専用のQRコードです。あなたの登録情報の確認・変更ができます。

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。変更のある方はいずれかをご利用ください。  
①フリーダイヤル  
②フリーFAX  
③QRコード（携帯電話）  
ご協力をお願いします。

同窓会協力金の振込用紙です。ご協力をお願いします。

編集後記

◇卒業生数には追いつけずとも、年に一度の会報「同窓会便り」配信◇目標を持って学んだ私たち仲間たちへの思いを馳せる◇人は人との関わりの中で生きる◇関わるツールは言葉◇生の声を聴く面と向かって聴く◇確かに他者との関わりはむずかしい◇人間はアナログ。生あるものはアナログ◇文明の利器に振り回されず我を見失わずいたい (K A)

同窓会協力金募集

1口 2,000 円のご協力をお願いします

同窓会の運営費は毎年卒業時に終身会費として頂くことによって賄われていますが、年々会員は増大し3,700人を超えています。会報費、通信費などの運営費用の捻出に、苦慮しているのが現状です。是非とも協力金をお願いいたします。

住所変更は2つの方法で

個人情報保護に配慮し、プライバシーマーク認証業者の株式会社同窓会事務局へ会員情報の管理、会報発行を委託しました。それに伴い、同窓会事務局専用の受付電話・FAXが開設されています。住所が変わられた方は、下記の方法でお知らせ下さい。

フリーダイヤル 0120-10-9899 内線124番 平日 10:00 ~ 17:00  
フリーFAX 0120-10-9184 終日受付

49回生の同窓会入会を  
歓迎いたします。